



之を知るものは之を好む者に如かず
之を好む者は之を楽しむ者に如かず

2017年4月号 フォーラムだより

自立学習教室 あんどうフォーラム
「考える遊び」認定教室
ピグマリオン横浜南教室
～平成29年4月12日発行～

HP : <http://www.andu-forum.com>

☎ : 045-241-1854

●2才から5才までの子育てにおいて一番大事なこと●

1. ゆっくり・ていねいに話してあげる。
2. 毎日外につれだして、様々な体験をさせてあげる。お子さんの体験に言葉をそえる。(自然の中での遊び、お散歩の時など) ことであると考えています。

幼児の早期教育が過熱気味で、乳幼児から早期教育のビデオやCDを聞かせる親御さんも増えているように思います。最近では、生まれてからの“3年間が非常に大事”で“全てのことは3才までに決まってしまう”と強調する向きもあるようです。しかし、発達心理学が専門の専門家はこのような最近の風潮に警告を発しておられます。

アメリカでの調査では乳児期に早期教育の教材ビデオを、1日1時間以上見せられていた子どもたちは“認知や言語の発達が遅れている”ことがわかりました。起きている時間の大半で、音と光の強烈な刺激をあびている状態になり、脳にオーバーフローをおこしてしまうのだということです。

最近の脳研究では次のように指摘しています。「乳幼児は聴覚、視覚、触覚、味覚、嗅覚などの五感の神経回路を作っており、とにかく乳幼児の脳は忙しい。たとえば英語などに**こだわりすぎると**、本来優先すべき発達が犠牲になりかねない」と

幼児期は本当に大切な時。遊びも重要な要素です。しかしただ遊んでいけばよいというのではあまりにも無策です。だからこそ無理せず、勉強という構えたものではなく「遊び」感覚のような自然な形で脳を刺激しながら、潜在意識の貯蔵庫にたくさんの知恵を無意識のうちに入れてあげる意識的工夫が必要だと思えます。

現在本塾で指導している「考える遊び」「うざわ・英語」「うざわ国語」[ことばの学校]はどれも、そんなコンセプトで開発されたものです。それらはすぐには学校の成績にはつながらないかもしれませんが、でも、必要なときに、貯蔵庫から引き出して、自分で考え解決する力につながっていくのです。

●進学・入学おめでとうございます●

今年は3月から新年度を開講し、新しい学年の学習を始めました。そして1ヶ月がたちました。始業式、入学式を終え、本格的に新年度の始まりです。

今年は塾生の中にも、小学校に入学した子供たちが3人、中学校に入学した児童が2名おります。教室はそのフレッシュな雰囲気と、進学したことへの誇らしい気持ちで、緊張感のある学習が始まっています。

昨年度のやりのこしを黙々と進める子、本人の[やりきろうという覚悟の程が見え、成長したなぁと思います。今年は年度に使う教材をすべて、渡しました。各自家に持ち帰り[まだおきっぱなしになっているものもありますが、]原則教材は自分で責任を持ってもらうという方針です。次に何をやるかを意識して、教材忘れのないように、配慮するのも、自立学習の大切な部分です。

また新学年の学習を嬉々として進める姿もたくさん見られます。心なしか教室にきりりとした雰囲気があります。この環境を1年間維持したいと思います。塾長の工夫が大切と気を引き締めました。漢検・数検の結果も出て、教室の「おめでとう！」掲示もすっかり張り変わりました。子供たちの1年間の学習をやりきったという気持ちが、次の学習を進める原動力になっているのでしょう。登塾すると、すぐに学習を始め、集中して学習する子供たちの姿がたくさん見られるようになりました。

●神奈川県公立小・中学校の調査結果から●今年度の学習目標を考える

今年も今月末全国学習状況調査が予定されています。全国調査結果分析から神奈川の学習を改善する手立てを確認し、本塾の今年度の達成課題にしたいと思います。

教科に関する調査から（国語、算数・数学）

各調査の中で、全国公立学校の平均正答率より5ポイント以上低かった設問【小学校】

- ・国語A 「漢字の読み書き」（6問中3問）「ローマ字の読み書き」（3問中2問）
- ・算数A 「除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解する」

全国公立学校の平均正答率より5ポイント以上低かった事項

- ①除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解していること
○ $2.1 \div 0.7$ を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く設問（神奈川県：63.5% 全国：68.5%）
- ②「直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ」
①直方体における面と面の位置関係を理解していること
○ 直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ設問（神奈川県：72.9% 全国：78.0%）

改善の手立て

- ・立方体や直方体の、面と面の位置関係については、**具体物の観察や操作を通して理解できるようにすること**
- ・小数の除法の計算において、除法の性質の理解の上に立って、**整数の除法の計算と同じようにできることを具体的な数において、確認する場を設ける。**
具体的な場面において、**式の意味やその中の数値の意味を説明する活動、記述する活動を設けることが大切です。**

【中学校】

- ・国語A 「漢字の読み書き」（6問中2問）
「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」
- ・数学A 「資料を整理した表から最頻値を読み取る」
「具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくる」
- ・数学B 「与えられた情報から必要な情報を選択し、相対度数を求める式を書く」

全国公立学校の平均正答率より5ポイント以上低かった事項

- ①資料を整理した表から最頻値を読み取ること
読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める設問（神奈川県：39.5% 全国：45.5% 無答率 神奈川県：20.3% 全国：17.4%）
- ②与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に、的確に表現することができる。25、5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く設問（神奈川県：25.9% 全国：31.1% 無答率 神奈川県：40.2% 全国：33.5%）
- ③具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくること
縦と横の長さの比が5：8の長方形の看板について、縦の長さが45cmのときの横の長さx cmを決めるための比例式をつくる設問（神奈川県：47.3% 全国：52.3%）

改善の手立て

- 目的に応じて**データを収集して整理し、資料の傾向を読み取る活動を取り入れ、代表値や相対度数の必要性和意味の理解を深めること**
- 具体的な場面における数量の関係を見だし、**比例式をつくることができるようにするために、図をかくなど比と数量の関係を視覚的に捉える活動を取り入れる**
- 具体的な場面において、**問題解決の方法を数学的に説明する活動や理由を説明する活動を、取り入れる**

*以上の報告から本塾の今年度の指導の重点目標は、これまで以上に**自分の出した答えにいたるまでの考え方を説明してもらう場面を意識的にふやす**ことを再確認いたしました。

★4月・5月の予定★ (年間各曜日42週に調整しています)

2017 4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

2017 5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

●4月 5月フリーデーは、

4/24日のみ、 5/15日 29日になります。

土曜日までに申し出をしてください。申し込みがない時は閉塾になることもあります。

利用する人が少ないことがとても残念です。遅れていること、気になっていること、もっとやりたいこと、学校の宿題、家ではやれないからなど... なんでもよいので、ぜひ利用してください。

4月末から5月にかけてのゴールデンウィークは、塾のお休みも8日間になります。家での勉強習慣を崩したくないので、[いちまるテスト4日分と算数文章問題2枚]を宿題にします。ファイルに入れて19日から渡しますから、ファイルのまま提出してください。

●3月開講「キックオフ大会」は延期になりました。あまりにも急な思いつきで準備不足

のため実行できませんでした。連休中の5月3～5日に再度今年度のキックオフミーティングを恒例の「自然観察会」とあわせて行う企画にしました。9:00～16:00の一日イベントになります。予定を調整して保護者の方もぜひ是非ご参加ください。

キックオフとは、サッカーなどの試合開始を意味する言葉で、得点後の試合再開などのときにも、相手陣内にボールをけり出してゲームをスタートさせます。この意味から、何らかのプロジェクトを立ち上げることや、立ち上げ時の最初の会合をさす意味でも使われるように荷になりました。3月からの1年間の塾学習の最初の会合「キックオフ・ミーティング」として今年度のあんどろフォーラムでの学習目標や、みんなの学習への意気込みを披露する場面も作り、みんなの意識を共有して1年間の学習を始めたいと思います。今年度初めての試みです。できるだけたくさんの塾生の参加を期待します。根岸森林公園か↓

